

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	66	職員間の私語が多く見守りが手薄な事がある。すなわち見守り不足からの事故の懸念がある。	介護者の自覚をもって仕事に従事する。	職員間で注意しながら一か所に固まらず、いろんな方向からの見守りが出来る様に立つ位置を考える。	3ヶ月
2	61	担当するご利用者様の処方箋等の情報などが把握しきれていない。	医療情報の申し送りを徹底し、管理不足からの人為的な投薬事故を無くす。	ご利用者様のサマリーには必ず目を通し、受診の際は出来るだけ立会い、情報は必ず伝えることを習慣づける。	6ヶ月
3	61	日々の業務に追われ、フロアーや居室の清掃・消毒を怠っている。	ご利用者様が気持ちよくお過ごしになれる環境づくりは支援の基本であるとともに事故防止にも繋がっていく。	毎日の清掃は勿論ですが、毎週日曜日に清掃と消毒を行う。又、室温や湿度の確認を行い風邪の予防や居室の悪臭防止に努める。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	56	ご利用者様一人一人の役割を持った生活が出来ていない。	日々の生活の中で出来る事を増やし生き生きとした生活を送ってもらう。	一緒に洗濯や調理など家事を行ってもらう。 個々のしたい事や、やりたいことを聞き工夫して行う。	12ヶ月
2	66	職員の介護技術・知識及び認知症に対する理解が不足している。	介護技術・知識を向上させ日々のケアに活かす。	時間を作りカンファレンスを行う。 勉強会・研修を行う。 気づきを増やす。	12ヶ月
3	62	ご利用者様本位ではなく、職員の業務が優先している時がある。	業務優先のスタイルから脱皮してご利用者様がその人らしい生活出来る様な支援を何よりも優先する。	業務のやり方を見直し、職員のペースで動かない。 チームワークを大切にする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。